

◇開校記念日に寄せて◇

令和6年 5月 2日
軽米高等学校

5月2日は軽米高等学校の開校記念日です。今年度で創立77年目を迎えます。

本校は、戦後の教育改革により昭和23年5月2日に夜間定時制課程普通科の新設高校として開設（入学生102人）し、今年度で創立77年を迎えます。

旧軽米小学校に間借りして始まった軽米高校の教育には、地域の期待がとても大きく、新しい時代を牽引する人材育成の拠点としての役割が託され、定時制ながら独立校として創立されて、地域と共にその歴史を刻んできました。

昭和25年に全日制課程が設置されましたが、昭和26年には高校再編計画により「廃止か分校格下げ」の対象になりました。「後進性を挽回するには時間が必要であり、そのためにも高校は必要である」と陳情を重ね、廃止が撤回されました。

その後、学校規模は徐々に大きくなり寄宿舎もできるなど昭和50年代には、最大規模の生徒定員675人15学級になりました。しかし平成に入ると徐々に生徒数が減少し、1クラス、また1クラスと学級減になり平成27年に生徒定員240人6学級となりました。

本校は、創立からここまで、難関大学への進学を始め就職などの進路実績や部活動等で数々の実績をあげ「県北に軽米あり」と称されてきました。今春卒業した先輩を含め8,846名が軽米高校を巣立ち各方面で活躍しています。

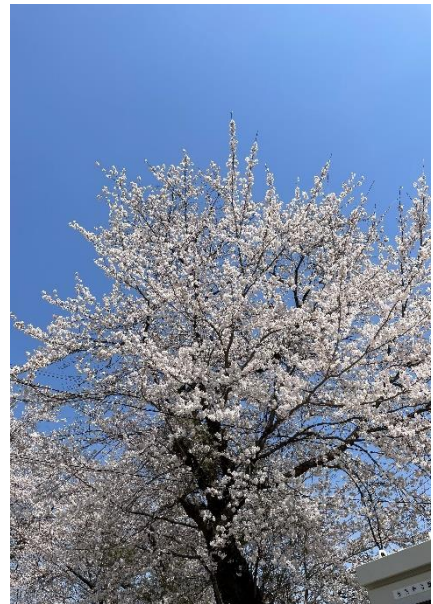
また現在の地域連携型中高一貫教育は、平成13年から始まり中学校、そして地域と連携し一貫教育の目的を充実・発展させてきました。開設当時、軽米町に中学校が5校あったそうですが、今は軽米中学校1校のみとなり、少子化が進んだことがここでも分かります。

本校は過去に学校存続の危機がありましたが、大規模な学校となり発展してきました。しかし

現在、軽米町の少子化と共に生徒数が減少していることが課題の一つとなっています。

開校記念日に当たり、これまでの校史を振り返り、多くの先達の御労苦に心から感謝するとともに、校是「風雪に耐え 大いなる 未来を拓かん」のもと、軽高生として、一人一人が自信と誇りを持ち輝けるよう教職員・生徒が一丸となり魅力ある学校づくり、また新しい軽米高校の歴史を築き上げていきましょう。

（本校70年史より抜粋、一部改編）



◆沿革(抜粋)◆

昭和23年	4月	1日	岩手県立軽米高等学校設置。 (夜間定時制普通課程、修業年限4年、定員400名)
	5月	2日	開校式。定時制課程普通科入学式を挙る。(入学生102名)
昭和25年	4月	1日	定時制課程に加え、全日制課程が設置。(1学年定員50名)
昭和28年	11月	30日	木造2階建校舎竣工。
昭和29年	1月	23日	校舎落成祝賀式典挙る。
昭和33年	9月	21日	創立10周年記念式典挙る。校歌制定。
昭和34年	3月	31日	寄宿舎「松柏寮」落成。
昭和39年	1月	24日	図書館竣工。
昭和40年	4月	1日	生徒定員450名(10学級)となる。
昭和44年	5月	21日	第2グラウンド(野球場)竣工。
昭和45年	2月	6日	新体育館及び渡り階段竣工。
昭和46年	3月	25日	増築校舎(本館)竣工。
昭和49年	4月	1日	生徒定員675名(15学級)となる。
昭和55年	3月	25日	増築校舎(新館)竣工。
平成5年	4月	1日	軽米高校教育振興会設立。
平成10年	10月	23日	創立50周年記念式典挙る。
平成13年	3月	26日	地域連携型中高一貫教育導入の正式決定。
平成20年	4月		軽米町より通学費(バス代)の補助始まる。
平成23年	5月		副食給食開始。
平成30年	4月		八戸方面からのタクシー通学助成始まる。
平成30年	10月	20日	創立70周年記念式典挙る。
令和2年	4月		大野方面、九戸方面からのタクシー通学助成始まる。
令和3年	6月	8日	学校運営協議会開催、コミュニティースクールとなる。
令和4年	2月	7日	エアコン設置(HR6教室、校長室、職員室及び事務室)工事竣工。
令和4年	11月	10日	ボイラー室煙突改修工事竣工。
令和5年	1月	28日	ICT教育環境(HR6教室に大型モニター、電子黒板他)を整備。
令和6年	2月	29日	自動火災報知設備更新工事竣工。

